

“ファミコン”世代に贈る 懐かしの名作シリーズ
ファミコン16作をジャンル毎にまとめた全6タイトル、GBA用に低価格で提供

「ハドソンベストコレクション」シリーズ 新発売

2005年12月22日(木) Vol.1~4



Vol.1 ボンバーマンコレクション



Vol.2 ロードランナーコレクション



Vol.3 アクションコレクション



Vol.4 謎解きコレクション

2006年1月19日(木) Vol.5~6



Vol.5 シューティングコレクション



Vol.6 冒険島コレクション

株式会社ハドソン（本社/東京都中央区、代表取締役社長/遠藤英俊）は、ファミリーコンピュータ（以下ファミコン）で人気を博した当社の代表的な名作ゲームを、ゲームボーイアドバンス（以下 GBA）用にアレンジした「ハドソンベストコレクション」シリーズを投入いたします。ファミコン用の全16作をゲームジャンルごとに6タイトルにまとめ（1タイトルに2~4作品を収録）、各2,940円（本体価格2,800円）の低価格で提供いたします。

シリーズ第1弾として、2005年12月22日(木)に、「Vol.1 ボンバーマンコレクション」「Vol.2 ロードランナーコレクション」「Vol.3 アクションコレクション」「Vol.4 謎解きコレクション」の4タイトルを、シリーズ第2弾として、2006年1月19日(木)に、「Vol.5 シューティングコレクション」「Vol.6 冒険島コレクション」の2タイトルをそれぞれ発売いたします（ゲーム概要は次ページ以降参照）。

1980年代にゲームに熱中した“ファミコン”世代の子どもたちは、現在20代後半から30代となりゲームから離れている人も多いと言われます。こうした状況の中でも、2004年2月にファミコン生誕20周年記念として、任天堂株式会社からファミコンソフトをGBA用に復刻させた「ファミコンミニ」シリーズが発売され人気を博しました。また本年9月にはGBA用ソフトが遊べ、ワイシャツのポケットにも収まるスリムでコンパクトなサイズの「ゲームボーイマイクロ」（発売元：任天堂）も発売されたことなどから、“ファミコン”世代がシンプルながら奥深いゲーム本来の楽しさを味わい、隙間時間でも手軽に遊べるソフトとして本シリーズを投入いたします。

「ボンバーマン」「チャンピオンシップロードランナー」のパスワードはオリジナルのファミコン版を採用、また「Vol.5 シューティングコレクション」はオート連射機能を装備しました。さらに全タイトルに連射測定ができる“シュウォッチモード”も搭載しています。

「Vol.1 ボンバーマンコレクション」

「ボンバーマン」

(FC版 1985年12月発売)

爆弾で敵を倒す迫力のアクションゲーム。子どもだけでなく、お父さんのストレス解消にも役立つと話題になった。



「ボンバーマンII」

(FC版 1991年6月発売)

新要素で生まれ変わった「ボンバーマン」。ノーマルモードもストーリー性がより豊かになりスリル満点。



「Vol.2 ロードランナーコレクション」

©2005 HUDSON SOFT

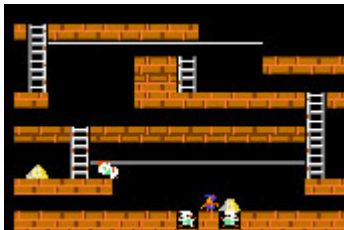
©2005 Douglas E. Smith

LODE RUNNER is a trademark of Douglas E. Smith registered in the U.S. and other countries.

「ロードランナー」

(FC版 1985年7月発売)

サードパーティ製のファミコン第1弾タイトルであり当社の初参入ソフト。ミリオンセラーのヒットとなったアクションパズルの金字塔。



「チャンピオンシップロードランナー」

(FC版 1985年4月発売)

「ロードランナー」の上級版。超難問の数々に日夜悩み続けるプレイヤーが続出。パスワードによるコンティニューを初めて採用したタイトル。



「Vol.3 アクションコレクション」

©2005 HUDSON SOFT

「チャンレンジャー」

(FC版 1985年10月発売)

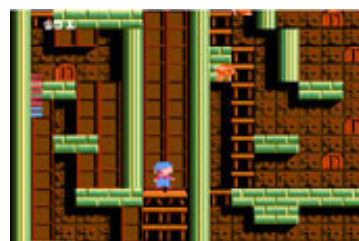
ワルドラド島を舞台にしたアクションゲーム。100面を超える広大なマップは当時としては最大級。アイテムによるパワーアップはプレイヤーを驚かせた。



「迷宮組曲」

(FC版 1986年11月発売)

主人公ミロンのかかわいさが話題になったアクションゲーム。魅力的なグラフィックやサウンド、RPG的要素も加わった珠玉作。



「Vol.4 謎解きコレクション」

©2005 HUDSON SOFT

「ナッツ&ミルク」

(FC版 1984年7月発売)

「ロードランナー」と同時発売のオリジナルアクションパズル。全50面で難易度は高いがキャラクターのかわいさで女性にも大人気だった。



「バイナリランド」

(FC版 1985年12月発売)

左右対称に動くペンギンのグリーンとマロンを一つのコントローラーで操作し、ゴールでキスさせるという摩訶不思議な感覚が話題を呼んだ迷路パズル。



「サラダの国のトマト姫」

(FC版 1988年5月発売)

大ヒットしたパソコン用アドベンチャーゲーム、通称「サラトマ」のファミコン版。登場人物が全て野菜という異色の設定と独特の世界観が魅力。



「Vol.5 シューティングコレクション」

©TECMO, LTD.1984 ©2006 HUDSON SOFT

「スターフォース」

(FC版 1985年6月発売)

当社開催の第1回全国キャラバンイベントの公式認定ソフト。“シューティングのハドソン”の伝統を生んだ代表作。



「スターソルジャー」

(FC版 1964年6月発売)

第2回全国キャラバン公式認定ソフト。スピード感溢れるシューティングに全国の子どもたちが熱狂した。



「ヘクター'87」

(FC版 1987年7月発売)

第3回全国キャラバン公式認定ソフト。横スクロール面の追加や投下弾の同時発射など、独特の仕様でファミコンのシューティングゲームに一石を投じた。



「Vol.6 冒険島コレクション」

©2006 HUDSON SOFT ©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE

高橋名人の冒険島

(ファミコン版 1986年9月発売)

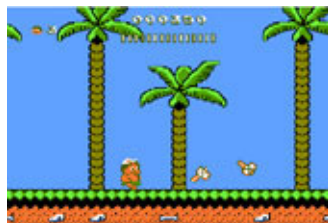
当時、人気絶頂だった高橋名人をキャラクターに起用した本格アクションゲーム。ミリオンセラーとなり以後シリーズ化。松下進氏のイラストも評判となる。



高橋名人の冒険島II

(ファミコン版 1991年4月発売)

大ヒットした「高橋名人の冒険島」の第2弾。パワーアップした名人が仲間と共に8つの島を大冒険。チラノやノッシーなどの恐竜が名人の味方になって闘う。



高橋名人の冒険島III

(ファミコン版 1992年7月発売)

シリーズ第3弾の敵は宇宙人。名人の恋人ティナをさらったばかりか仲良しの動物たちを操って名人を襲撃。名人渾身の8ステージがプレイヤーを待ち受ける。



高橋名人の冒険島IV

(ファミコン版 1994年6月発売)

ハドソン最後のファミコンタイトルにして、ファミコン最後のタイトルにもなった。アイテムやパスワード、3D カットマップなど新システムを搭載。



* ゲーム画面は全て開発中のものです。